

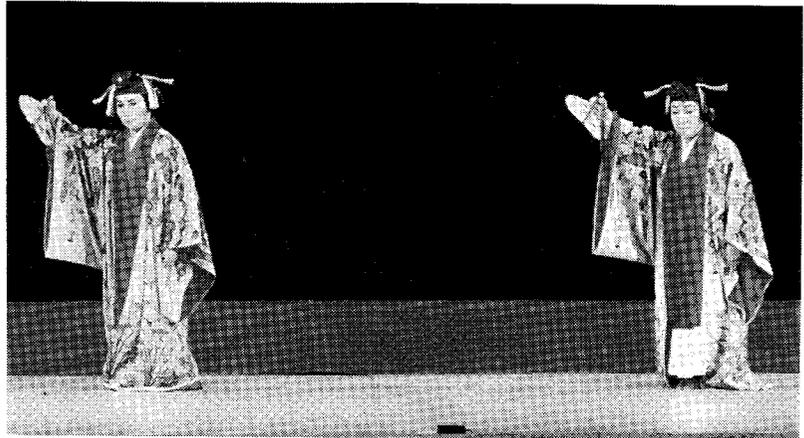
川崎市立 日本民家園

日本民家園だより 29号 平成5年9月10日 編集・発行 川崎市立日本民家園

民家園に秋が...

～ 11月3日(祝)舞台公演も ～

昭和42年4月に開園以来、日本民家園は市民や多くの見学者と共に充実の一途を遂げてまいりました。昨年の本館完成により施設面の充実が一段落いたしましたので、今後は生涯学習等の博物館活動をより積極的に推進して行きたいと考えております。



華麗な沖縄舞踊

以下はこれまで行って来たことと、これから実施する行事です。

<体験学習会の充実>

体験学習会は、四季に合わせ多くの伝統文化を学び、今の暮らしの中にどう生かすかがポイントと考えます。

ここでは、わら細工（アシナカ草履・草履・わらじ・しめ縄）、竹細工（六つ目かご）、草木染めとはた織り、農具使用体験、小正月のマユ団子作り等バラエティーに富んでいます。

<民家園講座>

昨年に引き続いて講座を開き、より一層民家を理解していただくと同時に、古建築全般についても知っていただくという趣旨です。

今回は、10月2日から30日までの各土曜日「古建築の意匠と技術」というテーマで実施します。

講師は日本建築史学の第一人者であり、東京大学名誉教授の太田博太郎先生を始め、著名な

先生をお招きいたします。

<日本民家園まつり>

10月1日から11月30日までを「日本民家園まつり」期間とし、園内で多彩な催しを行います。

前に述べた「民家園講座」もその一つです。くわしくは、4～5ページに掲載いたしました。特に舞台公演として、美しく、きらびやかな「沖縄民俗舞踊」を始め、「江戸の里神楽」を上演いたします。ご期待ください。

なお、11月3日（文化の日）は無料入園日ですので多くの皆様の御来園をお待ちしております。

<共催事業>

1. (財)川崎市生涯学習振興事業団の公開プレ講座「民家－ハレとケのフォルム」
(5/14～7/30の各金曜日計12回)
2. (財)文化財建造物保存技術協会のセミナー「日本の建築の形と収まり」(6/25～27)

見学者のご意見

— 企画展示「雪囲い」について —

前号の調査結果報告欄でお伝えいたしました
が、越中五箇山の「雪囲い」を旧山田家住宅で
行い、囲炉裏で火をたき、見学者を床上に上げ
民家の冬の様子を見ていただきました。

こうした企画展示は初めての試みであり、見
学者の皆さんに感想をお願いしました。またそ
れについてのコメントや今後の企画展示につい
て本園の考えもします。

— 意見についての調査内容 —

感想の総数は 382通でした。その内訳は市内
125人、その他257人、年齢は10代から70代まで。
職業は、学生（小・中・高校生含む）が112人で
一番多く、次いで会社員、主婦、公務員、自営業、
その他の順となっています。

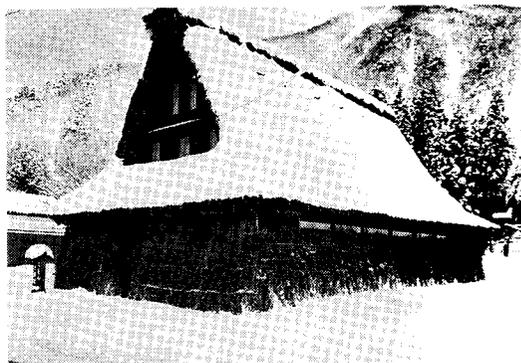
お寄せいただいた内容としては、大多数の方
が「良かった。これからもやって欲しい」とい
うご意見でした。

主な内容を紹介しますと、

- 故郷での生活を思い出した。
- 都会では、体験できない。
- 企画展示に感激した。
- 囲炉裏に感激した。
- このような体験場所をもっと作って欲しい。
- 寒さをしのぐ「雪囲い」の知恵に感激した。
- 心に落ち着きを感じた。
- けむくて、昔の生活は大変であったのでは
ないか。



囲炉裏の生活（白川村にて）



現地「五箇山地方」の合掌の家

- テレビでは見ても本物は初めてです。
- 囲炉裏の火でくつろぐことができた。
- 昔の日本の文化を知ることができた。

— 園としての考え方 —

今回、初めての企画展示を実施、大変ご好評
をいただき感謝しております。

「雪囲い」と同時に囲炉裏に火を入れ、床上
を公開したのが良かったようです。

火を使うため、どうしても管理する人が必要
なため、むずかしい面もございます。

今年度は、まず「民家園まつり」期間中であ
ります10月から11月の毎日をボランティアの皆
様のご協力をいただき、床上公開を実施する予
定です。

なお、「雪囲い」についても冬季に実施する
予定です。ご期待ください。

貴重なご意見ありがとうございました。



冬の合掌集落（白川村荻町）

日本民家園まつり プログラム

〈平成5年10月～11月〉

日本民家園主催行事

秋の民家園講座

10月2日(土)～10月30日(土) 各土曜日13:30～15:30

テーマ 「古建築の意匠と技術」

- (1) 西條孝之 「東大寺大仏殿の昭和の大修理」
- (2) 太田博太郎 「床の間」
- (3) 鈴木 亘 「武蔵南部における近世社寺造営の大工」
- (4) 大野 敏 「民家園所在旧太田家住宅の復旧修理について」
- (5) 関口欣也 「農家と農書―『百姓伝記』を読む」

募集 定員 先着40名(9月15日午前9時から受付)

受講料 5,000円(内2,000円は教材費)

舞台公演 民俗芸能公演

11月3日(水・文化の日) 13:00～15:00

- (1) 「紅葉祭り」 山本社中江戸の里神楽
 - (2) 「沖縄民俗舞踊」 川崎沖縄芸能研究会
- <観覧無料> 雨天延期11月7日(日)

古民家の特別公開

10月1日～11月30日 毎週 金・土・日曜日

- (1) 旧三沢家住宅の床上公開
- (2) 旧太田家住宅の床上公開

体験学習会 「草木染め」と「はた織り」

10月3日(日)～10月24日(日) 各日曜日10:00～15:00

ウールマフラー作り

糸染め～整経～はた織り

募集 定員 先着20名(9月16日午前9時から受付)

教材費 1,000円

市民参加行事 ー伝統技術実演会ー 10:00～15:00

民具製作技術保存会

- (1) 体験学習会「民具着用体験」
10月3日(日)～11月3日(水) 各日曜日・祝日
- (2) 実演会「オミキのクチ作り」
10月28日(日)

体験学習会 「わらじ」作り

10月3日(日)～10月24日(日) 各日曜日10:00～15:00

募集 定員 先着各日40名(9月17日午前9時から受付)

教材費 300円

神奈川紙すき研究会

10月16日(土)・17日(日)

はがき・しおり等の製作実演

体験学習会 「農具使用体験」

11月14日(日)～11月21日(日) 各日曜日10:00～15:00

- (1) 脱穀作業
- (2) 初すり作業

募集 定員 先着各日20名(10月15日午前9時から受付)

教材費 500円

伝統技術技法を保存継承する会

11月6日(土)～11月14日(日)

彫金・木彫・鉋けずり・市松人形作り 各土・日曜日
尺八製管・井戸さらい等の実演

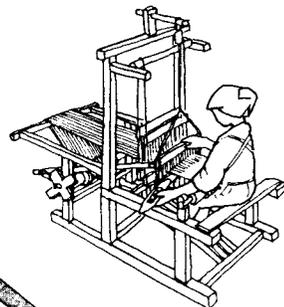
※ 実演団体の都合、天候の関係でプログラムの変更が生ずる場合があります。ご了承ください。

日本民家園まつり

会場案内

民家園体験学習会(旧原家)

草木染めとはた織り



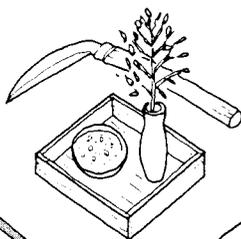
民家園体験学習会(旧作田家)

わら細工(わらじ作り)・農具の作りかた



民家園年中行事展示(旧北村家)

収穫祝い展示



民家園舞台公演

民俗芸能公演



舞台入口

⑳旧船越の舞台

西口駐車場●

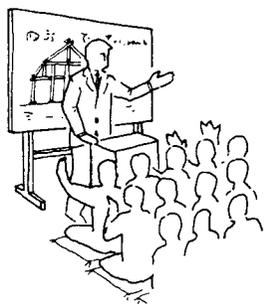
●伝統工芸館

㉑旧北

- ㊦ 行事民家番号
- 洗 洗面所・トイレ
- 他施設等

(旧原家)

家の意匠と技術



小田急線向ヶ丘遊園駅

●東口駐車場

旧原家

民家園入口

本館 受付
洗

④ 旧三澤家

古民家の特別公開(旧三澤家)

床上公開

◎ 旧佐々木家

市民参加行事実演会(旧佐々木家)

彫金・木彫・抱けずり・尺八製管
市松人形作り・井戸さらい

◎ 旧山田家

市民参加行事実演会(旧山田家)

紙すき

村家

⑭ 旧太田家

⑩ 旧作田家

市民参加行事体験・実演会(旧作田家)

民具着用体験
「オミキのフチ」作り

古民家特別公開(旧太田家)

床上公開

●噴水

●レストハウス

●プラネタリウム

●青少年科学館

家園出口

日本民家園「共催事業」盛況裡に終わる

主催 財団法人・川崎市生涯学習振興事業団
 テーマ 「中高年のための かわさき市民アカデミー」公開プレ講座
 日本人の生活文化史コース 『民家－ハレとケのフォーラム』
 (日本の生活文化の特質を民家をとおして見る)
 会場 日本民家園旧原家住宅他

回	月 日	学 習 内 容	講 師 (敬称略)
1	5 / 14	日本の風土と生活技術・食文化 私がつどん文化にこだわる訳は…	国学院大学教授 加藤 有次
2	5 / 21	日本民家園の古民家を見学 専門学芸員が案内	川崎市立日本民家園 小坂 広志・三輪 修三
3	5 / 28	住まいの習俗・間取り 文化的枠組みを作りあげている仕組みは	千葉大学教授 大河 直躬
4	6 / 4	日本の住まい (1) 湿気	国立歴史民俗博物館 国立民族学博物館共同研究員 神崎 宣武
5	6 / 11	日本の住まい (2) カビと発酵食品	神崎 宣武
6	6 / 18	民家をどう見たらよいか 民家のキーワード	川崎市立日本民家園 大野 敏
7	6 / 25	民家園を語る 移築・解体・復原・管理・保存…	川崎市立日本民家園 野呂瀬 正男
8	7 / 2	民家の生活 民具制作の体験学習も含む	川崎市立日本民家園 小坂 広志
9	7 / 9	発掘を通して見えてきた民家の歴史 (1) 縄文期	川崎市立日本民家園 増子 章二
10	7 / 16	発掘を通して見えてきた民家の歴史 (2) 古代・中世	増子 章二
11	7 / 23	発掘を通して見えてきた民家の歴史 (2) 近世	県埋蔵文化財センター職員 市川 正史
12	7 / 30	集落・共同体としての民家 支配・被支配との関係	川崎市立日本民家園 三輪 修三

主催 財団法人・文化財建造物保存技術協会
 後援 文化庁、毎日新聞社
 協援 アメリカン・エキスプレス・インターナショナルInc. 日本支社
 テーマ 3日間集中セミナー『日本の建築の形と収まり』
 (文化財建造物の技術・技能保持者の確保と育成を図るためのセミナー)
 会場 日本民家園旧作田家住宅

日 程	時 間	テ ー マ	講 師 (敬称略)
6月25日(金)	11:00~12:30	城郭の復元/ 日本の城	五味 盛重 (文化財建造物保存技術協会)
	14:00~15:30	文化財建造物の修理	伊原 恵司 (同 上)
6月26日(土)	11:00~12:30	日本民家の建築史	宮澤 智士 (文化庁建造物課長)
	14:00~15:30	瓦職人の世界	小林 章男 (瓦宇工業所社長)
6月27日(日)	11:00~12:30	社寺の規矩について	持田 武夫 (文化財建造物保存技術協会)
	14:00~15:30	民家の構造	田中 文男 (大工棟梁)

平成4年度 入園者統計

平成4年度の入園者状況をお知らせします。

3年度に比べ入園者総数で15,353人の増となっております。また、外国人の入園者は旧年度に比較し904人増えております。

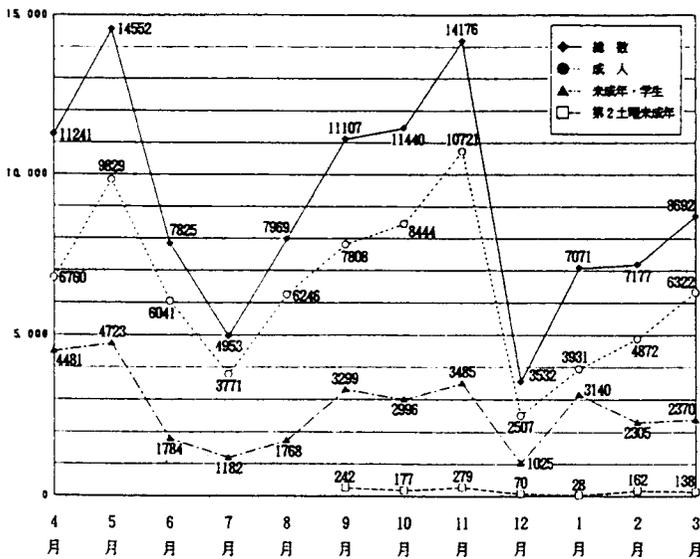
昨年度の特徴としては、学校5日制に伴って6月から小・中・高の生徒は、第2土曜日が無料入園できるようになりました。その結果、3月末日までに1,096人の生徒が来園しました。

昨年は本館が7月に完成以来、入園者も増えており、増加傾向は平成5年度につながるものと考えます。

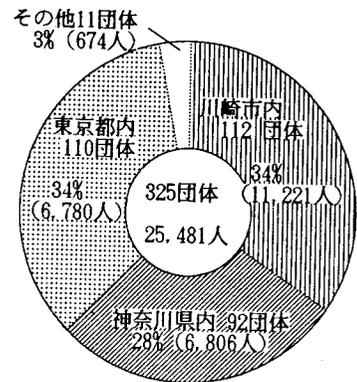
年間入園者数

総数	109,735人
成人	76,431人
未成年・学生	33,304人

月別グラフ



団体入園状況



マユ団子作り風景



旧北村家の七夕飾り

ガイドブックを発行します

11月頒布予定

長年の懸案でありました日本民家園ガイドブックを発行いたします。

入園者にパンフレットを差し上げておりますが、もう少し掘り下げて勉強したいと言うご意見が多く、このたび刊行の運びとなりました。

ーガイドブックの内容ー

基礎編 日本の民家

1. 民家へのいざない
 - (1) 民家の間取り
 - (2) 民家のつくり
 - (3) 民家のかたち
2. 民家の普請
 - (1) 民家をつくる
 - (2) 儀礼
3. 民家の立地と屋敷構え
 - (1) 平場の民家
 - (2) 山地の民家
 - (3) 海辺の民家
 - (4) 町の民家
4. 民家の火と水
 - (1) 民家の火 (いろり・かまど)
 - (2) 民家の水 (水使い場)
5. 民家の昼と夜
 - (1) 農家の一日
 - (2) ニワ仕事
 - (3) 夜なべ

各論編 みんなで見よう

みんなの民家園

「各論編」については割愛させていただきませんが、各古民家の特徴等を詳しく解説してあります。

なお、頒布価格及び頒布方法等については、決まっておりませんので次号に掲載する予定です。

建物は常に動いている

昨年9月、10月、今年5月の3回に分けて、東京理科大学及び職業訓練大学校の手により古民家の構造的振動について実験が行われました。

建物は、風や地震の影響を受けなくても常に微小な振動をしています。この振動を細かく調べることで建物の構造的特性がわかります。

最近、木造建築が見直されている中で、伝統的な木造建築の構造特性を把握する必要が生じています。

今回、当園で行われた常時微動測定実験は、古民家の持っている構造特性をしることによって現代建築に生かそうというねらいです。

実験は、古民家の梁や床上に振動測定機を設置して建物がどう振動しているのか、また振動がどう伝わり、吸収されているのかを調べたわけです。

当園の古民家が選ばれた理由は、建物がしっかりしていて、しかも静かな環境の中にあり、いろいろな形式の建物が点在し、各々が復原修理されているためです。

この実験結果については、これからの研究の基礎資料になるそうです。

編集後記



方丈記の作者、鴨長明は小さな庵に住んで、世の移り変わりを見ていました。また、良寛もそうでした。

日本民家園に点在する各古民家の住人たちは何を考え、何をして来たのか想像するだけでも楽しい気がします。

これからの民家園は文化の発信基地として、伝統文化を正しく伝えるとともに、昔の人たちの心を今の私たちに教えて行く役割を負っているものと思います。(S.N)